

1. 件名：「新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（川内原子力発電所第1号機 設計及び工事の計画の認可申請（緊急時対策棟接続工事）【1】」

2. 日時：令和3年5月21日 13時30分～14時30分

3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室（一部TV会議システムを利用）

4. 出席者（◎・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

関企画調査官◎、中房上席安全審査官、井上主任安全審査官、
鈴木主任安全審査官、堀口主任安全審査官、安田主任安全審査官◎、
大野安全審査官、西内安全審査官、畠山安全審査官、藤川安全審査官

九州電力株式会社：

原子力発電本部 原子力機械グループ副長◎ 他15名◎

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

- ・資料1 川内原子力発電所第1号機 緊急時対策棟設置工事のうち連絡通路接続工事に係る設計及び工事計画認可申請について
- ・資料2 川内原子力発電所1号機 設計及び工事計画認可申請書 補足説明資料【緊急時対策棟設置工事のうち連絡通路接続工事】

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	はい。原子力規制庁の西内です。これから限定と川内の緊急時対策と接続工事に係る設計及び工事計画認可申請の概要のヒアリングを始めたいと思います。九州電力のほうから説明をお願いします。
0:00:18	九州電力八木です。
0:00:20	それでは川内原子力発電所緊急時対策棟接続工事の設工認に対する説明のほうをさせていただきます。また資料の陰性確認からさせていただきたいと思います。
0:00:32	それのこの五反田ですね、本日はヒアリング資料は二つ用意してございまして資料の一番としまして、川内原子力発電所1号機緊急時対策棟設置工事の中でなく通路接続ポーズに係る設計及び工事計画認可申請について、やっぱりこちら概要説明のパワーポイントと。
0:00:50	(2)番としまして、その補足説明資料をご用意させていただいております。説明についてはこの順で説明させていただきたいと思います。
0:01:01	撲滅からそれでは資料1に関しまして御説明いたします。鉄道口銭かかり培養としましてポイントでございますけども一番幾つかいただいて、目次を開いています。
0:01:15	2ページ目にはじめにということで概要を書かせていただいております。今回進んだ検証検出緊待所については、現在話題金賞を運用しておりますしておられる居住スペース発表のために、緊対棟を新たに設置して機能移行する工事です。
0:01:33	それに関しては、設置基本許可を受領しております。
0:01:38	台頭当時に関しましては、切り分ける計画としておりまして、今回申請のなくす
0:01:46	9ーが2期工事や
0:01:48	汚染に関しては指揮所のほうであります。こちらに関しましては、工事計画認可を現在重要視しております工事中でございます。
0:01:57	今回新設の二期工事に関しましては、下線で書いておりますけども、現在運用中の代金所を休憩所といたしまして、指揮所と休憩総計帰属する連絡通路新たに設置するということで、指揮所給計装連絡通路一体運用とした、緊対棟とする工事を今回行います。
0:02:19	来や対処については1以下、鋭意工事が完了していいですね、防止指揮所供用開始することで、技術基準への適合性を確保できていますけどもその上で設置許可で、
0:02:33	出ますけれども参入居住スペースを確保を拡張する急ピッチで連絡通路を接続しまして2機構で実施し、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:41	でございます。
0:02:43	それでは決壊 4 席をしますので、次のページからですがけれども、
0:02:50	している範囲になります。
0:02:52	機能及び主な設備といたしまして、今回、ここに挙げてある言わし気相法に上げてある設備と同様でございますけれども、二期工事に関しましては、赤字下線で示しておりますけれども、部分についての申請を
0:03:11	申請では時手続きをやります。
0:03:16	そう設備というのは、居住性の確保の中の①番、遮へい、
0:03:21	②と④のファンとポンベのところに買っ米印を規定したに書いています空気浄化系とか付けの配管、
0:03:32	こちらが申請対象となる温泉スズキ対象となります。
0:03:37	そして一番下のその他のところに火災防護設備と入るんですけどもこちら火災区域の申請した。
0:03:45	津浪いただき 4 ページ目です。先生範囲でありますけれども、こちら真ん中、認識書があってその左に連絡通路があると構成でございますけれども、こちらの連絡通路の赤破線でもってあるところが今回の工認手続き対象となりまして、
0:04:05	この中の配管をふやす意思で示しておりますけれども。はい、そして下へ連絡通路が火災の区域、区画構造物となりますので、申請
0:04:18	ということになります。
0:04:22	目 5 ページ目です。に関しましては、もちろん組織長が設置してあるところに今回連絡通路新たに設置接地という時工認で湿気支配しておりますと、地盤の安定性配置この滴下がコピーされた位置に
0:04:44	枚目いただき始めですね、建屋構造に関してです。
0:04:49	人培養ですけども、こちら指揮所と同じ方針ですがけれども、新構造物でSsに対して弾性範囲に収める設計と言うことって、新規の結果だけじゃ及び前 7 月 6 日以降、
0:05:08	PHITSレアケース電力がきちっと止まることにして、
0:05:17	液体 7 ページ目です。
0:05:20	Kの曲スペースを生かしましては、作業スペースも休憩代金賞
0:05:30	現在代金消費になっている所休憩政府として、
0:05:35	復旧とともに、連絡通路設置して一体構造とします。
0:05:40	内訳はここへ書いてある通りですがけれども、品質基準や機器や、
0:05:48	結局、
0:05:49	これも、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:52	次メディア監視は液化域洪積変わらず、出入口も減ってきたところを使っているっていう
0:06:01	めくっていただいて8ページ目です。行政の確保といたしますが、こちらも一期工事と非公式の映像でございまして、感知設備としましては、緊待所の密閉性とあいまって、
0:06:19	緊対所内を正圧に加圧適正一般経費を判断基準があって設計します。
0:06:26	今回は配管延長のみがおつき合いしなっておりますポンペ本数やウラン変更等は発生しないということでございます。
0:06:40	めくっていただきまして9ページ目でございます。
0:06:44	居住性の格好ええ遮へいになります。
0:06:47	さけに関しましては青のを実線で囲っておりますけども、こちらがAと加圧バウンダリとなりまして、このなんかを再生で思っております、何か時ぱっとPS
0:07:10	役員覆土に関しまして、主査を雇用な設計としています。連絡通路もここに真ん中のほうにありますけども、ちょっと通用口と書いてある部分がありますけども、こちら、通常時に、
0:07:25	時緑地として
0:07:29	アクセスできる用品ぎみ設けております。大ざっぱ安全締め切り中期的になりますけども、こちらに関しましては吹き出しで書いておりますけども、汚染源に対してラビリンス構造を設けて持ち寄ってきつつ、
0:07:44	補正も知識ないような検知しております、扉に関しては休日扉に
0:07:52	ということで、さらに1方向の位置、
0:07:58	オフィスということで出席
0:08:03	引っかけていただきます。説明ページ目です。
0:08:06	比較いたしまして、頻度も非常に機構図等そのあらず自国7日間で100mSvを超えないということで評価をします。
0:08:19	表の中の右側に備考とありますけれども、今回の被ばく評価においては米にありますけども、緊対所にとどまる要員が受ける実効線量に関しましては指揮所広場解体した場合と九州な
0:08:34	失敗の実効線量の1。
0:08:42	めくってトレンチ決めて、
0:08:46	行政経営酸素濃度及び二酸化炭素濃度抑制できてますけども、こちらは全く引っ越しあらず、既存のポンペ、ファンによって初行いますので、酸素濃度二酸化炭素濃度に
0:09:02	お聞きしまして、要員の活動に支障がないっていうお聞きします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:11	112 件されてございます。こちらは今回、近地項機能及びその適合するための設計方針をそれに関連する添付資料をしてございます液化ちよつと説明を割愛させていただきますけども、適宜ご覧になってこうい
0:09:30	当機構を進め、他に結局、
0:09:36	今 2 キタ 14 ページ目になります。
0:09:39	主要工程になります。
0:09:42	オペに関しましては、一期工事の竣工が 2020 年 11 月竣工してございますけれども、その前に認可を引越します接続工事に関しましては、同 9 月に委員会のそのあとの
0:09:58	普通のスポーツ着工ということで、
0:10:01	まだ代金賞を運用するで指揮者が竣工していない時期に高度化しますので、※書きで書いておりますけども、敷地及び待機所の緊対所機能かからない部分が真ん中の部分はですね、その部分の接続、
0:10:16	上の工事を開始しております。そのあと支所が竣工しましたら代金書に関わる場所についても、cause着工する考え。
0:10:27	自分があります。
0:10:30	6 ページに体験者たち等の関係について、名組成などをやっています。
0:10:39	こちらに関しても詳細説明は割愛しますけども、一番右の枠で困ってあるところが今回二期工事の鮎なりまして、一番右のエキスパンションジョイントはええと。
0:10:52	しっかり取りますけども、右までが指揮所でエキスパンションジョイントも間を連絡通路と呼んでおる位置もちよつと言った左の部分を緊急時対策を休憩所変形。
0:11:06	名いただいて、7 ページ目、18 ページ目ですけどもこっちは見込みの緊対棟敷地外系統接続募金タイトについてと比較してございまして、渠の美化面積飛んで広がるということで、
0:11:26	めくっていただいには未引き継ぎますレイアウトの比較ですけども、
0:11:33	こちら費等、今の指揮所のレイアウトに関しましては、分析エリアとミーティングエリアというところで休憩も行うというような金融でございましてけども、
0:11:46	休憩用のスペースを拡張することで、そこを休憩専用スペースするっていうような違うとさせていただきます。
0:11:54	以上で連絡する尻尾商売を設置し、
0:12:01	ポンポン出ますでしょうか。
0:12:04	はい。
0:12:05	規制庁、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:08	私は言うんですけど、
0:12:13	資料 1-3 ページ。
0:12:15	3 ページ 4 ページ目 辺りとかっていただき、
0:12:20	あまりちょっと今回の工事内容と明確にしたいですね。
0:12:24	火災防護設備については区域区画の構造物の変更だけであって、感知消火設備等については、この連携粗く通路部についてどういう設計になってるんですか。
0:12:42	はい、ちょっと的を絞って、
0:12:47	所電力は南方トレースまず火災区域区画の変更につきましては、もともと例えばですね。
0:12:58	図面、ちょっと 9 ページとか
0:13:05	回位ヘッド空母の形を見ていただきます。
0:13:10	学校気に勤怠と右側の式気象部分としては、旧ログを人区画として設定していたものを連絡通路を含めた拡張するということで今回申請をしております。
0:13:26	あとはヘッド代替緊待所のほうは一方廃止されたものを名前の変更ということで、一つ価格もともと代替緊待所単独のとはそこで区域として設定してたんですけど、今回、一体となりますので、
0:13:41	／区画として設定するっちゃうことがまずあの区域区画の申請となっております。
0:13:49	この後その他のハロンせてハロン消火設備につきましてはまず
0:13:57	価格を
0:13:58	延長した拡張したところについては通路側、
0:14:04	警戒書式書のプール側から配管を引き延ばす等で代替緊待所側もたものを流用する。
0:14:13	ということで考えております。
0:14:18	あと感知器につきましては代替緊待所はもっとあるもので血糖連絡通路のところ追設をするということで設計方針は、指揮所がかなり何も変更はないということ、
0:14:34	以上です。
0:14:35	はい規制庁西内です。議長地盤同じ認識かなと思ってたんですけど、一方でまずこの概要バーと 4 ページ目のところを見ると、今お話しされたような入ってこのハロンガスの火災防護設備、
0:14:52	何回かお腹引き延ばすっていうところがどう読みにくくてですね、今回の施工認定対象範囲の中にその配管伸ばすっていうところも入ってくるで使われて監

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	視設備の追設っていうところ入ってくると思うと思いますので、ちょっと4ページ目のところ、同じ3ページ目のところ、
0:15:08	含めてそういったところは明確化お願いできればと思っています。
0:15:13	合わせて申請書上で、このハロンのガスの配管とか模式伸ばすってところが明確に読めないなと思っていて、ちょっとそこら辺の設計についても補足説明資料等を用意していただいてまた説明をお願いできればと思うんですけども。
0:15:29	はい、九州電力の西どの列島すいませんこの3ページについて、先ほど説明してハロンの延伸ページのがいわゆる火災区域区画の増設を今回やるエリアになりますんで、
0:15:46	ハロンが主配管として、こちらが基本設計、せよう目標上も出てこないような状況がありますのでそちらについて
0:15:56	詳しくは補足説明資料のほうで説明させていただきたいと思います。
0:16:01	以上です。
0:16:09	規制庁西内です。補足で説明いただく内容ですけど、主配管として出てこないってところがちょっとよくわからなくてですね、それます耐震性作業時間としては出てきていて、それぞれ赤名称変更として低下してるっていうのが今の申請書だと思うんですけど。
0:16:27	その部分で明確に配管の長さに変更になっていて少なくの添付図面とか火災説明書とか、そういったところでは明確に説明がされるべきことかなと考えているんですけど、ちょっとまだ事実関係の確認ということで、工事内容を正確に説明書案と説明書とかで、
0:16:43	説明をいただきたいというのが現状です。
0:16:48	はい委員長の戦略に関して、
0:16:50	はい、そうします。ちょっと補足のほうできちんと御説明したいと思います。
0:16:54	はい、えっと、火災防護設備については了解です。／等は、
0:17:00	ちょっと順番年度おっしゃいましたけど、3ページ目という一番最初のキタ斜面の部分なんですけど。
0:17:07	ちょっと今回の説明資料上段透明に出てこないんですけど、ましょ閉と言えはまず気密扉の位置付けをちょっと確認したくてですね。
0:17:21	保安院の資料というにくいんですけど、さっき説明いただいた9ページ目のところで言うと、
0:17:26	議会というカラーコーン連絡と繋がっていくところとか、二つちょっとくぼみみたいなどころがありますけど。
0:17:36	もともと今現状は遮へい体と気密扉っていうのが設置してあって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:42	期目扉まで緊対棟の拠点のバウンダリとしてと思うんですけど。
0:17:47	気密扉を最終的に撤去しないわけですね。
0:17:52	遮へい体を撤去するっていう申請だと思うんですけど、気密扉についてちょっと現状年読めなくてですね、ちょっとその部分の位置付けをちょっと確認したいんですけど。
0:18:02	それでは個別からですね、遮へい体についてはご認識の通り撤去ということで気密扉撤去ではないですけども、気密扉に関しましては、ここは一体運用としますので、とツーツーやるように設計しますので、気密扉か社長誓いの運用といたします。
0:18:21	逆に規制庁の西内です。逆にそうしたいのが残す理由は何かあるんですけどつけというところですか。
0:18:31	中の九州電力表面が何かあるのかっていうところを確認したかったんですけど。
0:18:36	はい、ニッピ工事進行後の運用に関しまして、気密扉というものは残す必要はありませんので気密扉撤去という表私もあると思います。
0:18:47	ただあの試験等で塩基ポツから 2 期工事に移る際に関しましては、気密扉を地形を開け閉めしますけども、その試験の間とかに事故が起きて、この緊対棟を運用しなければならないというときは、
0:19:06	既存の機密バウンダリで運用する必要がありますのでその際にスズキを進めるようにということでここは気密扉を設置し、
0:19:17	これが少ないと規制庁に周知です。了解しました。具体的には 10 時間用とするっていうところは保安規定段階の下部規定と思いますけど、その中で明確に説明いただくことかなと思いますけれども、
0:19:29	わかりました。まだ気密扉というものは残すっていうことですね、でも、あとは掃気ビス扉がこの延長するって言うてる火災防護設備とか、非常用空気浄化設備に耐に対して周りとしたくないよねっていうところの確認は追加で必要かなと思いますので、
0:19:47	ただその気密扉の位置付けというものが明確にさせていただいた上で、そういったところに波及的な影響を及ぼさないよっていうところの説明もセットでお願いしたいんですけどよろしいでしょうか。
0:19:59	研修に増えたんです。そうしました説明資料等で説明させていただきます。はい、よろしく申し上げます。
0:20:07	当初変換しては、もう一つは、この連結部ジョイント部の部分の設計の話を確認したいんですけど、ここの設計については、許可時に説明いただいている設計から他詳細設計を行う着手変更がないという理解でしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:28	九州電力水原です。ご認識の通り許可時から変更はございません。わかりました。
0:20:35	ちょっとまだそこまでつけるかっていうのはあるんですけど、まずあの工認断面においても、補足説明資料ベースでまた結構なんですけど、許可で設計しているそのまま説明していただいているとのジョイントの設計から工認断面においても変わってませんよという趣旨の説明明確に欲しいなと思ってます。
0:20:51	その上でまた個人に説明された内容がどこまで今回また添付するのかっていうのはちょっと考えたいなと思いますけど、ちょっとまだ明確にこの外部シール材とか内部スプレイとかの設計も含めて、許可に説明した設計から変更はないという趣旨の明確な説明はお願いをしたいと思うんですけどいかがでしょうか。
0:21:11	所電力からです。承知しました。現在補足説明資料税とその旨を記載しておりますけれども、今、
0:21:24	ジョイント部に関しましては相対変位の評価を説明資料で載せてございますけれども、そちらに許可時からの設計変更ということで、堰内吸気をし、来解消思います。
0:21:36	そうですね。はい。ちょっとその趣旨の変更がないという趣旨がちょっと明確に読み取りにくいなと思ったんで、そこだけはちょっと明確にまず宣言いただいた上で工認の具体的な審査を進めていきたいなと思います。よろしく願います。
0:21:51	また今の遮へいの話に関係するんですけど。
0:21:58	あとこれは結構話の中でも少し三重の
0:22:04	あったなと思ったのが具体的な線量評価。
0:22:08	被ばく評価を支援するにあたってモデルでやってると思うんですけど、ちょっとモデルの段面でジョイント図でどういったモデル化をしているのかっていうのをちょっと概要でもいいので御説明いただきたいんですけど、
0:22:24	正直そんなに大きい影響はない部分だと思ってんですけど、ちょっとまずモデルかっていう観点という評価をしているのかって説明をちょっとお願いしたいんですけど。
0:22:33	今日ちょっと資料がなくて説明していただければ次回以降、簡単な補足作っていただけてという形でも結構ですので、
0:22:43	別紙連絡原でございます。
0:22:46	連結部のモデル化ですけれども、
0:22:50	現状はモデル化していないというのが現現状です。その理由としまして、
0:22:56	まず連結の要員が外部の線源を着手できない構造になっております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:02	それに加えて、連結部名内部に到達するまで
0:23:05	会場散乱する必要がございますので、
0:23:08	孔による減衰の効果というものが緊急時対策所遮へいと同等のレベルで期待できておりますので、
0:23:16	使われるかはしておりません。
0:23:19	条例市長の西内です。ありがとうございます。御説明は駐車了解しましたので、ちょっとまずは補足説明資料の形で結構なんですけど、今の趣旨の説明資料に明確に落として中身を確認させていただいてもいいですか。
0:23:35	はい、承知いたしました。補足説明資料等で説明いたします。よろしくお願ひします。
0:23:43	続けて密集地ですけど。
0:23:56	はい。
0:24:14	すいません、規制庁西内です。この概要は以上かなと思います。その上で、あとちょっと若干手続き的な話になるんですけど。
0:24:25	14 ページ目。
0:24:27	資料 1-14 ページ目の主要工程の話なんですけど。
0:24:33	本件事前申請前に、行政相談という形で事前の面談はさせていただいてきて、今までも少し話になりましたけれども、今回の工認がへん人なのか別工事のかっていうところの話をちょっとできればと思います。
0:24:51	で、少なくとも今現状の一期工事言っているものの工事工程の検査工程っていうのは、こちらが事業者検査の申請書という形でこちらの当県削剥ペースをいただいでいて、11 月まで工事予定ですっていうことが明確に説明いただけると思ってます。
0:25:10	その上で、今回の申請書の工事工程表を見ると、今ここで説明いただいでいる通りですね、9 月から矢羽の 9 月から工事を始めますと書いていて、今回のこのパートで説明いただくと。
0:25:24	いわゆるへん人ではない、そういう
0:25:28	工事が工事中のもの検査中のものに対して、それを変更するものではなくて、工事が終わっていた供用開始した後に好調進めるっていうことは明確に説明いただいでいると思うんですけど、一方でそれが工認申請書上明確に読めないなというふうに思っていますと、
0:25:47	そこの部分だけ担保できないとまで工認が施行にガイドのほうでは明確に示しているといった供用中のもの、供用開始していないものに対して変更かければには変更認可手続きという形で基本的に示しているところもありますので、
0:26:03	少なくともその

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:04	工事工程っていう断面でも判別工事PRであることを申請書上明確に説明いただく必要があるのかなと思っています。
0:26:14	外浜がどう考えから何か説明できることがあればお願いしたいんですけど。
0:26:31	戦力のボタンたりする御指摘いただいた通り、現在の工事工程ではちょっと読み読めないような形になっているのかなと思っています。
0:26:41	汚泥見地からちょっと説明さに記載を追記するなり補正させていただければと考えております。
0:26:49	はい、規制庁 20 です。またどこかの内容、技術基準適合性というか、手続き面の話ですので、
0:26:57	ちょっと具体的な話までおっしゃいましたけれども、少なくともちょっと現状は書いてないのかなと思うところですので、ちょっと今後、
0:27:06	診察すんで、5000 円の内容が固まった段階であわせてその部分の明確化というところまでご検討いただければと思います。
0:27:14	はい、よろしく申し上げます。
0:27:18	ました。
0:27:21	はい。私からは現状は異常公的とか鉄塔に影響がわからない。
0:27:34	規制庁、鈴木です。
0:27:36	8 ページの
0:27:40	空調系の
0:27:42	延長部分の絵なんですけど。
0:27:46	これ
0:27:49	フィルタを通った後のダクトが、
0:27:52	関係対象エリアから一旦外に出て、
0:27:59	また中に入るっていうふうななってますよ。これは実際はどうなんですか。
0:28:07	すでに含めからです。実際にこの通りでございまして、連絡通路の情報をアマダとスペースと呼ばれるところから貫通してして頂部はうような換気系配管に関しては情報はうように設置されますけれども、
0:28:24	かつ再開に関しましては連絡通路内部を通るということになります。
0:28:29	規制庁スズキです。
0:28:33	空調系作動時も及び加圧ですよね。
0:28:41	空調系作動時は配管されている状況でも機構ですよそれなのに開発対象A やっぱり外に出すっていう設計が
0:28:54	ちょっとよくわかんないんですけど。
0:28:56	この設計と二つあるんですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:01	連絡通路に関しましては、瑣末衛星も限られているということもございまして、各配管自体がはあ超過配管自体がかなり大きいものもますので、こういうふうに変状をはうよう設計としてございまして、常にあるんですか。
0:29:24	まず、まずですね、
0:29:27	ちょっと今更ながら見たんです。見てあれっと思ったんですけど、まず、すでに工事している①②の部分ですね、ファンの部分とフィルタユニット、
0:29:41	これ、最近の浄化系にしては珍しいタイプで、フィルタユニット加圧タイプですね、
0:29:49	こういった場合って、フィルタユニットのところまで放射性物質が外部から入っ持ち込んできた保守物を
0:29:57	リンクさせちゃうタイプなので、
0:30:01	リンクしないように作ってあると思うんだけど、万一漏れたときは、
0:30:07	わざわざ
0:30:08	不安で、保守で物を
0:30:11	び加圧エリアの中に持ち込むタイプになってますね。で、これはちゃんとリークしないように、
0:30:19	保守管理指定されるんだろうけれども、
0:30:22	そのあとフィルター通った浄化された空気を使って、
0:30:29	関係してるエリア、これをピックアップしてるにもかかわらず、
0:30:33	美化してるエリアを通らずに、一旦美化してるエリアからバウンダリ用崩して外に出して、また持ち込むっていうことは、
0:30:43	ここのバウンダリ崩してるところっていうのは、とても重要な設計になって絶対漏れちゃいけないんですね。
0:30:53	そんな空調設計って普通ないと思うんですけど、非常用換気空調については、
0:31:00	そういう設計に今事例としてあります。
0:31:05	九州電力の別。
0:31:10	布石のをトレン急ぐたちちょっとよくわかりませんが、一方時代でも加圧のポンベに関しましては一旦外からアクセスするということになっておりまして、どこかでバウンダリを勘案するということは、一般的ではないかと考えています。
0:31:26	いやいや加圧ポンベについては、
0:31:31	開発する側が切れちゃったら、その時は当然
0:31:36	加圧対象の緊対棟の方っていうのは、加圧できなくなったわけなんでしょう。
0:31:45	その通りで多湿だから隔離されている状態が切れるわけじゃないですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:55	バタ弁とか地点でしょう。
0:32:01	おっしゃる通りでございますけれども、
0:32:06	このきちっと新しくつけたと延長する部分っていうのは、
0:32:12	どういう構造になってて、
0:32:14	それが防げるようになってるからそれでいいんですっていう設計なのか。
0:32:22	今私はその開発米のところないところはとりあえず置いといたとして、
0:32:29	こういった換気空調のダクトルーティング見たことないんですけど、本当に困難がある。
0:32:36	一般的に、
0:32:38	これ技術的な話ですよ。
0:32:41	すいません系九州電力の発車までございます。
0:32:46	今、帰還運用中の既設の代替緊急時対策所でございますけれども、
0:32:51	朝の一番のファンにつきましては、屋外②のフィルタユニットにつきましても屋外、そしてそこから配管を通しましてへ現在休憩所と記載してございます代替緊急時対策所のほうに、
0:33:06	給気される設備がございますが、知ってますのでは、だから代替緊急なんですよ。
0:33:15	空調設計として、代替緊急ってあんまりよくないのわかってただけど狭いからしょうがないから外に育ててユニット出してるからね。
0:33:24	そういう設計になってるんですよ。
0:33:27	でも今回緊急にとって新しくいいものを作るわざわざつくってるのに、何でこういうバウンダリを崩すようなラインをわざわざつくるんですか。
0:33:40	九州電力からです。UTにしましては先ほど申しました通りN連絡通路の絵とそれからやれているということでちょっと高さが低いっていうのもありますので、話が逆じゃないですか。
0:33:53	そういうロケットルーティン宝バウンダリ崩しちゃうんですなんておかしいじゃないですか。
0:34:00	団体を崩さないように通路をつくるんじゃない。
0:34:08	おっしゃることは理解しますけどもきちんとしたバウンダリのシール設計をしてございますし、この9ケーソン手口にしましてはバタ弁もついてますので、万が一こう破断して、こっから
0:34:25	中に、
0:34:27	サムカワ流入ということに関してここへずっと起こり得ないかなと考えておりますが、中を防護措置するからいいんですね今言ってるじゃないですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:38	はい。なんで防護措置が必要なふうにわざわざつくるのかよくわからないって言ってるんですよ。
0:34:43	それについては別に基準、技術基準で縛っているわけでもないので、そういうふうにつくりたければそつくりばいいんですけど。
0:34:51	ちゃんと防護措置ができてるかどうか、わざわざ見なきゃいけないんですよ。
0:34:56	それともで申請されているということですね。
0:35:02	おっしゃる通りでございますわかりましたじゃそこんところはきっちり見させてもらいます。
0:35:06	お願いします。
0:35:12	データ集ですけども、今のところは前回広告で明確に御説明いただくということで、一方で今の渋滞等から非常用空気消火設備出ていく部分、
0:35:26	この現場今回申請書だっという積み上げていっていると思いますけど、出ていくところはすでに設計しているという理解でいいんですよ。
0:35:41	この48ページ目の理由と配管委員長系って書いてあるところでのラインの長の指揮所から出て行くところがあると思うんですけど、指揮所から出て行くところの配管まで行き工場の中でやって難航しているっていう理解ですね。
0:35:57	月収電力がチャラです。その通りでございます遮へい体とかを貫通してそこまで配管を設計してございます。今実際に大阪場面で閉じている段階でそこまで設計を今機構で進めているっていうことでいいですか。
0:36:16	はいその通りでございます。わかりました。また今回の申請範囲等々前回までの申請範囲に含めて明確にさせていただいた上で手で先ほど鈴木が出席したようなファンなりが適切に設計されていることっていう観点で改めて説明をしていただければと思います。よろしくをお願いします。
0:36:36	承知いたしました。
0:36:38	はい。規制庁に集中ですけど、ほかに非常に各問答がありますか。
0:36:44	よろしいですか。
0:36:45	堰体調何か回答してあります。よろしいですか。
0:36:50	関です。特にありません。はい、ありがとうございます。もう一度ちょっとここで出席者を入れ替えです。いいわけとか資料1についての質疑を一旦機
0:37:02	耐震側方の海進部分の関係の説明と質疑応答と確認を詰めていきたいなと思いますけどこの続けてよろしいでしょうか。
0:37:14	基準レベル、
0:37:17	大丈夫です。はい、よろしくをお願いします。内藤ちよつと続けて説明あった。
0:37:22	少しお待ちいただいてもいいですか。
0:37:25	また、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:28	はい。原子力規制庁鑄鉄改めて資料 2 の説明から続けてお願いできればと思います。よろしくお願いいたします。
0:37:40	京成電力の五反田でございます。それは資料 2 の御説明をさせていただきます。資料につきましてですが、こちら公認申請書の補足説明資料でございます。
0:37:51	回位めくっていただきまして通しページの 2 ページでお願いいたします。
0:37:57	今回、補足説明資料として四つを用意してございます。御説明資料の一番が適用条文の整理に盤が添付資料の整理、三番が工事の方法で今回適用する工事の方法の整理、4 番という話で今回の個別のものとして、緊急時対策棟連絡する連結部に関する補足説明資料を用意してございます。
0:38:19	この帝国説明資料の 1 から三番につきましては、個別に一つ出来高設定いただいているもので特段御説明ありませんので、今回説明は割愛させていただければと思っております。
0:38:32	一遍呼んから御説明させていただきます。
0:38:41	九州電力の稲見と申しますと、補足説明 4 につきましては、系統、設置許可の段階について、連結部につきまして、外帯品を購入して提出客悪路のスペアを設けますという設計に基づきまして、
0:38:57	接客実施直るんですが、これ 100mm という隙間に対してネポンからの相対変位が暮れぐらいあるのかっていうのをお聞きいたし工認ベースとして算出いたしましたので、そちらについて補足の説明をさせていただきたいと思います。
0:39:13	はい、九州電力の野口でございますか用語説明いたします緊急時対策棟の連結部については、各建物の相対変位を考慮して約 100mm の隙間を設けてございます。すいません通しページ 62 ページからの御説明になります。
0:39:31	今回の設工認時の評価においても、相対変位の評価結果を考慮した設計となっていることを御説明いたします。
0:39:39	相対変位の評価方法です。説地震時における連絡通路と指揮所へ及び旧形状の相対変位を算出し、100mm の 2 カ国になったことを確認しております。
0:39:51	相対変位については、失点系モデルによる基線検診応答解析を行い、各建屋の最大変位を足し合わせて算出しております。
0:40:01	相対変位の算出位置は、第 1 図、各建屋の概略断面図に示す位置についてサービスしております。
0:40:09	次のページに行きまして、通しページ 63 ページです。
0:40:14	こちらに第 1 表といたしまして、各建屋の地震応答解析モデルを添付しております。
0:40:22	次のページに参りまして 64 ページに相対変位の評価結果を示しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:28	評価結果について、連絡通路と指揮所の相対変位を第 2 表に
0:40:33	連絡通路と休憩所の相対変位を第 3 表に示してございます。
0:40:40	結果を御説明いたします結果については、最大値 5.12 程度であり、各建屋間の離隔距離 100 ミリを市営下回っておることを確認いたしました。それに伴い、連結部が鋭角建屋と赤色したいことを確認いたしました。
0:40:58	建屋間の相対変位についての御説明は以上になります。
0:41:07	はい。規制庁周知です。
0:41:09	規制庁側から何か技術確認したい点があればお願いします。
0:41:16	すいません、規制庁の中瀬です。
0:41:19	ちょっとまず資料 1 のほうで流れまして、
0:41:25	資料 1 の本文のパワーポイントの中では連絡通路の話が全然なくて、連絡ツールに求められる機能とか役割、位置付け、
0:41:37	いわゆる常設重大事故緩和設備の間接支持とか、
0:41:42	耐震クラスC格好場合によってはC各Ss
0:41:47	どっか中にどういう 18 款とってるかとか、それについて改めて記載がないので、それを記載して欲しいです。
0:41:57	同じく資料 1 で、
0:42:00	この連絡通路が設置させて設置させる。
0:42:05	地盤支出とかです耐震設計に関わるような地震が二つあるんですけど、高齡のスペクトルか何かについては、
0:42:17	本部じゃなくて構わなくて参考資料としてつけてください。今後の耐震の
0:42:23	流れを
0:42:24	のためのまあ言っとるだけそんなんで、これはお願いしたいということです。
0:42:32	よろしいでしょうか。
0:42:36	九州電力名取です。今二つおっしゃいました並立を間接支持構造物として連絡通路がこのような位置付けかっていうことと、地盤に関する情報は高瀬さんがおっしゃってみる。このパワーポイント資料の
0:42:51	三坑でも構わないので、金取るに歯がちょっと該当する部分ですから、そこはわかるような資料を追加すると。
0:43:00	ということでよろしいですか。訪日当然つけておりますので、地震は確かに計算するのはあるんですけど。はい。
0:43:10	新設初めての来一体化目なんで、その大学からということで今、湊委員さんの言われた趣旨で結構なのでつけてください。
0:43:23	としましてそしたら公認資料の中で、ちょっと該当してるところがポイントの 3 項のほうにですね、ちょっと入れ込もうと思います。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:33	以上です。はい、よろしくお願いします。引き続き、資料 2 なんですけど。
0:43:39	これって確かに建屋間に相対変位、連絡通路緊対所の相対変位の絶対という人示唆 3 点が 5.1 ミリってあるんですけど。
0:43:51	もう連絡通路のてる解析モデルで、
0:43:55	物性のばらつきマイナス σ の時にですね誘発上下動で、
0:44:01	出してるんで、このときの相対変位を
0:44:06	基づいて出してるんでしょうか、ちょっとどういうふうに関係変位出したモデルを使ってるか明記してなかったの、そこら辺を教えてください。
0:44:24	九州電力の徳田です。こちらの相対変位につきましては、今んところばらつきではなくて基本ケースをもとに算出できております。今の御指摘ありました誘発上下動につきましては、
0:44:41	江藤荒木のケースで決まって具体的にはマイナスシーリングマイナス σ の Cs でしか使用しておりませんので、ご指摘がありました誘発表下のモデルからこの辺を算出したということであり、
0:44:57	ありません。あくまでも基本ケース、名宛用いて算出しております。
0:45:03	キタこそです。うん施設了解しましたけど、bar 外環 10cm もあるんで、この m m オーダーではないとしても、あらゆる変形に対応するっていう意味で、誘発上下動を使った場合と、
0:45:20	一般のモデルスムース R の変位量って、
0:45:25	どっちが大きいのかなと思ひまして、
0:45:28	基本的には寄付を使うんだらうなと思って質問してるんですけど、その誘発上下動を出したときの変位が
0:45:36	地震応答解析とか耐震計算書見ても書いてなかったんで。
0:45:41	知りたいと思ってますんでそれを提示してください。
0:45:45	これは添付資料の中で、中の参考でも構いませんし、
0:45:50	また別にコメント回答っていう形でも構いませんよろしくお願いします。
0:46:01	九州電力伊那富です。内容につきましてちょっと補足のほう業種で選ばれるようにしたいと思ひますが、
0:46:08	今規定相対変位をちょっと算出していきます。ページ番号リート 64 ページですけど、第 1 項のほうは連絡通路と指揮所率ねほん記者の方との相対変位ページ下の第 3 表が、
0:46:23	連絡する時急傾斜があるんですけど、実際、第 2 表の指揮所等々の
0:46:31	相対変位について今調査がおっしやったようなところで実際はもう数値も出してあります。
0:46:37	一方で、休憩所側の控訴のばらつきまで見た大抵緊待所石鹼増。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:42	これも数値の算出っていうつけなかったもんですから、
0:46:48	御指摘の通りでもほんとにスズキひびの差しかなかったもんだもので基本ケースを今回書かせていただいております。ですので連絡通路と指揮所棟側のほうでは、これが数値の差がありますということは、スズキ省と申しますけれど。
0:47:03	改めてその休憩するかをまたそれで直し直すっていうのはきっと。
0:47:07	今回やってませんので、ばらつきを見たときにこれぐらいの差しかないということ
0:47:14	連絡通路と敷地近傍に攻めそうかなと思います。
0:47:18	規制庁の中里です。了解しました。多分KKがほとんどバランスPRし整理小さいはずなんで、それをですね、思います。はい。CCF言葉をちょっと入れて指揮所棟と連絡通路側を代表させていただきました件で補足のほうに正解初動思います。
0:47:38	あとすいません、別なんですけど、緊待所のいわゆる指揮所のほうに埋め戻しMR
0:47:46	用いてるんですけど、このMMRの物性値とかですね、動的Tなたいちゅうのはちょっと地震応答解析とか耐震設計書になかったんで。
0:48:00	参考までに教えていただけないかと思っております。
0:48:05	0 許認可段階で何かFEMで一応なんか地震動の解析のときにFPあまりやってるっていう、いう話も聞いてますんで、そこでデータ、相対変位とかなんかで参考になると思うんで。
0:48:21	それは参考資料で構いませんので提示のほうよろしく申し上げます。
0:48:33	九州電力伊那富です。今中瀬さんから御指摘いただいたのは、指揮所棟側の
0:48:41	MMRの物性値ということでしょうか。それとも立上げの連絡通路の下のことを
0:48:50	おっしゃっているのでしょうか、指揮所ガーンと連絡通路がときに指揮所側のグラフ都市MMR使ってるので。
0:49:00	このMMRの物性のどんな辺りにも使ってるのかな。
0:49:05	ということが整理だというだけです。
0:49:12	指揮所側の地元紙の面もあるんです。はい。
0:49:17	いや、
0:49:19	九州電力の徳田ですけれども、今おっしゃられてるのは所詮何度も確認で申し訳ないんですけども、全会一致工事の際に、確かにご指摘を受けまして、
0:49:35	連絡通路等指揮所等の間のところの地盤はどうやって戻すとか、施工方法については問われましたので、その際に、
0:49:47	指揮所等の連絡するところだけは何名度を使いますと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:53	というようなお話を差し上げまし困っその部分のゲートという認識でよろしいですか。はい。
0:49:59	多分一緒だ。
0:50:01	イメージだと思います。はい。
0:50:05	承知しましたが、こちらにつきましてちょっとコメントという形で承って、そこがわかるように資料提出しようと思います、コメント回答って突っ込まれませんよという話しますございました。以上です。
0:50:22	検討に周期ですけども、規定等があります。
0:50:26	はい。
0:50:27	委員長堀口です。私の方から先ほどの資料1のほうでデータを会館ですね、達成までのやつの構造物関係のハイパーについても耐久性の観点がちょっとお聞きしたいと思っております、
0:50:43	で等々すんだっていうことができるとして別の関係でということ承知しましたデータ地点間で妥当な額も結構大きなペネになるかと思うんですけど、この範囲官邸とどのくらいの大きさがありますか。
0:50:58	県の
0:51:10	九州電力の堀川さん。
0:51:13	ちょっとだけ確認させていただいてよろしいですか。
0:51:18	はい。そのこれから説明聞いあ入って一般どうぞ。
0:51:24	県認知10年、
0:51:27	どうもは320cm理解のために20ミリ。
0:51:33	Lですね、日の直径大体跨ぎんだけど、直球にずつくらいという感じ。
0:51:39	はい、はい。
0:51:41	このピックアップされたので、じゃあですね管理過程については、ちょっとについてですね見るということなんですけれども、これについてはどうですか。終わっていると見えないう話もあるし、根拠を受けてどうなんでしょうか。カネカについては、
0:51:56	いつも出てきますっていう誕生。
0:52:04	九州電力の折田出して等、
0:52:08	配管、今回配管ですので、ちょっと形状から風荷重を見ておりません。
0:52:15	はい、承知しました。今後ですねワンコインポイントは一旦これも含めた配管のですね、については、地域や、組み合わせた、耐震設計について今後ですね、確認していこうかと思いますが非常に嫌ですね、あの表請求することなく8が1800とか、わかりました。以上です。
0:52:39	ほかに規制庁からあります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:41	よろしいですかというか、資料じゃないんですけども評価のときにちょっと聞いたかもしれませんが一つ許可のときの鉄筋でシール部ですね、シリコンのCMIについて。
0:52:57	発電所はこの他産業用にある水密性の観点で実績があると後だけど、執権浜堤の試験してますね。この実績等の知見との関係なんですが、
0:53:12	これはこのシリコンだって言ってゴムの
0:53:16	ところが、睡眠の実績あるけれども、平均点については定かでないので、試験で確認したとかということでしょうか。それとも機密点についても疲れて実績あるんだけれども、何らかの転貸の理由で、
0:53:33	試験も行ったということで、その辺の関係についてちょっとお願いします。
0:53:47	所電力からですね。抑えるように君津に関しましては、実績定かではなかったこともありまして今、説明資料を参考として許可の補足説明資料を
0:54:03	薦めますけれどもそこで示してあります通り、最後に試験結果を載せておりまして、100%負荷 200 から 300 間の気密試験を行っております。
0:54:17	はい。ご異議政府管掌しました。以上で、
0:54:22	規制庁の周期ですけど、ほかによろしいですか。
0:54:27	当席調査官ない方全体通してありますがよろしいですか。
0:54:35	はい。
0:54:36	九州電力の原子力発電本部側から何か全体通してありますか。
0:54:45	なきや入れさせていただきたいなと気中で、ちょっとその範囲
0:54:52	すみません、九州電力の上原と申します。
0:54:55	1 件確認したいことがございまして、先ほど 2 種様から御指摘を受けました連結部の連絡通路の被ばく評価のモデル
0:55:07	説明資料作る末端ですけども等確認をしたいんですけども、この連絡通路のモデル
0:55:15	憶測につくにあたって説明するのは、連結部のストーリー意味が、
0:55:21	当被ばく評価に使用しないっていうそれだけでよろしいでしょうか、それとも連絡製炉
0:55:28	すべてのモデルを示したほうがよろしいでしょうか。
0:55:34	規制庁周期です。
0:55:37	すべてのモデルって言っているのは、
0:55:42	はい。
0:55:43	ちょっと待ってください。すみません。
0:55:46	先ほどモデル化しないし、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:56	規制庁の西内です。ハグモデルを多と一体で示していただいて、その上で連絡通路部のところについてこういった理由でMile上は表現していないという趣旨の説明をいただければいいのかなと思うんですけど。
0:56:11	なんか一体で示すことにちょっとあれですね、その作業量とか増えてございますでしょうか。
0:56:20	連絡通路のほうで例の件なんですけれども、
0:56:24	現状の被ばく評価が
0:56:27	指揮所と休憩所の平均ということになっております。
0:56:32	減額制度の
0:56:34	社員形態遮へいは指揮所のほうの評価に合わせて入れているのが現状の添付11で、
0:56:43	申請書に示しております。
0:56:46	モデルになっております。
0:56:48	こちらをご覧いただいているの。
0:56:50	遮へいがどのように、
0:56:52	特にグラウンド線源があるかっていうのが未確認することがあります。
0:56:59	規制庁西内です。例えば申請書の添付11-17ページは20ページくらいそこら辺の話をしてるってということですかね。
0:57:08	これが全体のモデルの概要ですということでしょうか。
0:57:14	はい、その人を惹きごさいます。kでただ中性子それぞれの連絡通路、ここに
0:57:23	できたもので同モデルが変わったかっていうところを改めて示したいと思えます。
0:57:30	経済部ますはいすいません規制庁、
0:57:34	若干、
0:57:37	技術レベルのマツダですね、連絡通路設置によってその被ばく評価常務とどのような形でもうモデルを変更するのかっていうことを改めて補足説明資料のほうで説明したいと思えます。
0:57:51	はい。規制庁に集中審査ありがとうございますよろしくお願いします。
0:57:57	そのほか、九州電力側から何か全体として確認したいというところがあります。
0:58:07	9電力八木でございます。徳田9電からはございません。
0:58:12	はい。規制庁に終結了解しました。今日の確認点を踏まえてまたシステム資料作っていただいて、やっぱ次回ヒアリングの日程調整を事務的にさせていただければと思えます。東京のヒアリングぞここまでにしたいと思えます。ありがとうございました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。